特集
～第82回建設業講演会開催のお知らせ～

北海道建設業信用保証㈱では、公共工事の適正な施工並びに建設産業の健全な発展に資することを目的として、建設業講演会を開催いたします。開催の詳細については、以下のとおりです。皆様のご来場をお待ちしております。

【第82回建設業講演会概要】

○日　　時：2025年11月12日（水）　15:00 ～16:30 （受付 14：00 ～）
○場　　所：北海道経済センター8階Ａホール（札幌市中央区北1条西2丁目）
○入　場　料：無料
○定　　員：200名
○プログラム：
　開会　主催者挨拶
　（1）演　題　『北海道建設業の現況と課題』
　　講　師　北海道大学教授　高野　伸栄　氏
　　【略歴】昭和５８年建設省入省、平成元年北海道大学工学部助手、平成２７年北海道大学公共政策学連携研究部教授、令和３年４月より現職

　（2）演　題　『最近の建設業をめぐる諸問題』
　　講　師　藤田　昌邦　氏
　　【国土交通省大臣官房審議官（不動産・建設経済局担当）】
　　【略歴】平成５年国土庁入庁、金沢市都市政策局長、復興大臣秘書官事務取扱、北陸地方整備局建政部長、内閣府政策統括官付参事官、国土政策局総合計画課長、水管理・国土保全局総務課長、令和７年７月より現職

○主　　催：北海道建設業信用保証株式会社
　後　　援：北海道開発局、北海道
　　一般社団法人 北海道建設業協会
　　一般社団法人 北海道舗装事業協会

⇦昨年度講演会の様子。
講演いただいた堤　洋介 氏

ご来場希望の際は、お手数ですが受講申込書【第82回建設業講演会のご案内（PDFファイル 278KB）】に必要事項を記入のうえ、メール（somubu@hokkaido-cs.co.jp）またはFAX（011-222-6288）にてお申込みください。
締め切りは2025年10月31日（金）です。
問い合わせ：北海道建設業信用保証株式会社　総務企画部（011-231-4489）

～Instagramでみる道内助成事業～

北海道建設業信用保証㈱は、職員有志で運営するInstagramアカウント「HCSインスタ部（@hcs.instaclub）」にて、弊社の担い手確保助成事業のひとつである「現場見学会」の様子を、（一社）北海道建設業協会と協働し、取り上げました。

【北海道釧路工業高等学校大規模改造工事】

７月１８日、釧路工業高等学校の生徒さんを対象に、釧路市で開催されました。生徒のみなさんは、自身が通う学校の工事現場を見学しました。その後、教室に移動し、同校OBによる講話、ディスカッション、意見交換を通して学びを深めました。

【現場見学会in留萌】

７月２４日、留萌高校の生徒さんを対象に現場見学会が開催されました。最初に留萌ダムの施設内を見学。その後は移動し、「急傾斜地崩壊対策事業」の現場を見学。土砂災害から住民を守る工事の重要性を学びました。

URL： https://www.instagram.com/hcs.instaclub/

右の二次元コードを読み込んでいただくと、
お手持ちのスマートフォン・タブレットで詳しくご覧いただけます。

フォロー・いいね・コメントお待ちしております！

↓HCSインスタ部

@HCS.INSTACLUB

●第４回コンストラクション甲子園、エントリー受付開始

高校生が建設業や防災等に関する知識を競い合う第４回コンストラクション甲子園のエントリー受付が開始された。エントリー受付期間は、2025 年８月１日（金）～10 月 30 日（火）で、１地区 20 組 40 名限定の先着順。同大会は若者に建設業界への興味関心や理解を深めてもらうため 22 年度から開催している。本年度は地方予選を 11 月 29 日に、決勝大会を１月 24 日に予定。高校生は２人一組のチームで出場。予選では建設や防災等に関するクイズで知識を競い、上位チームが決勝大会に進出する。決勝大会ではクイズのほか、実技試験に取り組み、優勝チームには沖縄旅行が贈呈される。

●WTO 工事、金銭的保証が原則（防衛省）

防衛省は、WTO 工事について、施工者が倒産した場合の契約保証を見直し、金銭的保証を原則とすることとした。役務的保証による事業者の負担を軽減し、入札参加を促す狙い。10 月１日以降に公告する案件から適用する。

近年は、JV での受注が増え、構成員が履行不能になっても契約の続行が可能になったほか、これまでに保証の対象となる事案が発生しなかったことから、今回、WTO 基準額以上の工事も金銭的保証とすることとした。

●小樽で第 40 回全道大会（建青会）

９月５日、北海道建青会は、第 40 回全道会員大会をウイングベイ小樽で開催した。小樽建設協会建世会が主管となり、会員、行政機関、建設関連団体、教育関係者ら合わせて約 270 人が参加した。建設業の喫緊の課題である担い手不足にどう向き合うのか、子供のころに抱いた建設業への憧れを「童景」というテーマに思いを込めた。職業体験施設キッザニアを運営する KCJ GROUP（本社・東京）の宮本美佐副社長の講話では、子供の興味を引き出す仕組みを紹介し、子供が本気で夢中になれる環境整備の重要性を説いた。

●業界 PR 支援組織、コンソーシアム設立

北海道建設業協会、北海道舗装事業協会、北海道開発技術センター、北海道道路管理技術センター、北海道河川財団、北海道建設技術センター、北海道建設業信用保証、北保証サービスの８団体・企業は、建設業のイメージアップ、魅力発信に専門的に取り組む組織として『建設イノベーション・コンソーシアム』（Construction Innovation Consortium、略称 CIC）を設立した。初弾事業として建設業界の現場を舞台にした縦型ショートドラマの制作に取り組む。恋愛や友情の要素を盛り込み、若者やその保護者世代にアプローチする。

●道内建設業で認定急増

従業員のワークライフバランス推進で国の認定を受ける道内建設業者が急増している。具体的には、若者の積極採用などで取得できる「ユースエール」、女性の活躍推進を評価する「えるぼし」、育休など子育て支援環境の充実を基準とする「くるみん」で、2024 年度の認定企業は延べ 30 社に上る。25 年度も３ヵ月で 16 社と伸びており、北海道開発局が８月から始めた認定企業への総合評価加点案件の拡大も後押しし、勢いは続くとみられる。

●2026 年度予算の概算要求を発表（国交省）

８月 26 日、国土交通省は、2026 年度予算の概算要求を発表した。国費総額は一般会計が前年度当初予算比 18.9%増の７兆 811 億円。このうち公共事業関係費は 19.0%増の６兆 2,819 億円を要求する。

●2026 年度道開発予算の概算要求を公表（北海道局）

８月 26 日、北海道局は 2026 年度北海道開発予算の概算要求を公表した。一般公共事業費に当たる開発事業費は、国費で前年度当初比 19.6%増の 6,729 億円を要求する。国土強靭化や地震、津波による被害軽減に向けた高規格道路の整備、老朽化した上下水道施設の更新と耐震化に取り組むほか、米の生産コスト低減につながる農地の大区画化も推進する。労務費、資材価格高騰の影響を考慮した経費などは予算編成過程で検討する。

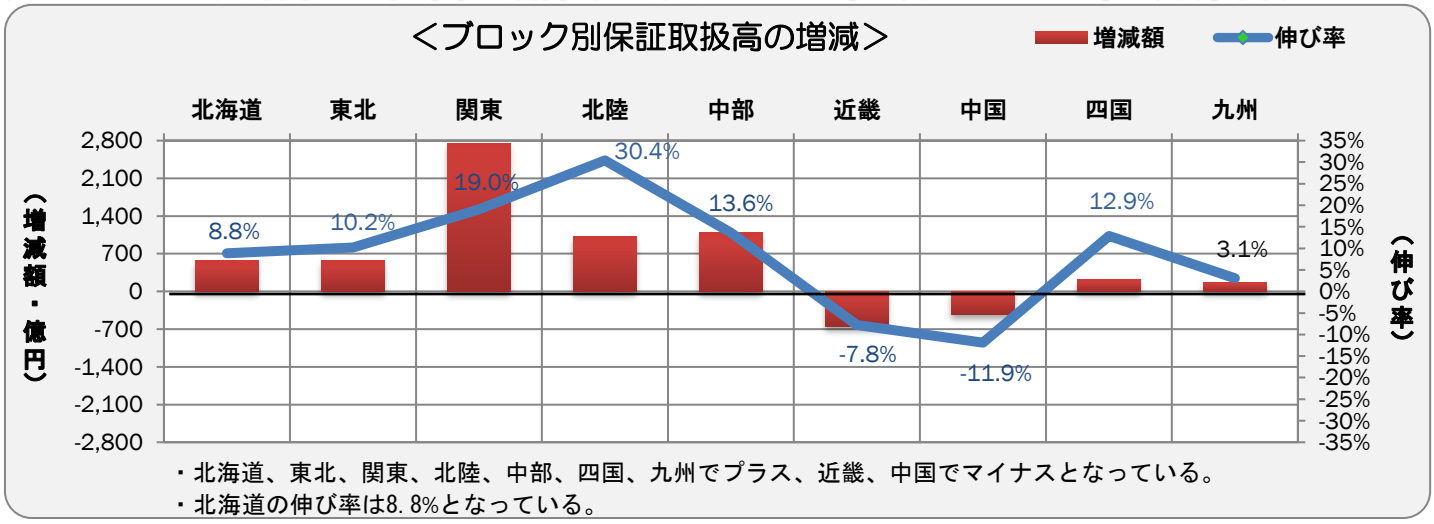
春に数年ぶりにスマホを買い替えたら、Gemini 君が一緒についてきた。AI の凄さは色々と聞き及んではいたが、実際手元にあるともの凄い。何せ「君」付けで呼んでいるくらいで日々欠かせない存在になっている。今のところの Gemini 君との関わり方は、新聞・雑誌等でもうちょっと詳しく知りたいということの追加的な質問だ。例えば、日経新聞には洋画の作品解説の記事があり、そこで紹介された中世の絵画に反映されているラテン語の詩の暗喩するものが何か？（記事で簡単に触れてる）と尋ねると、ビックリするほど瞬時に内容・背景やどう評価されたかなどを答えてくれる。一体何語で書かれた文献を検索し要約し翻訳し５秒で手元にテキストとして届けるのか！プラハの春の時のチェコの大統領や首相はその後どんな人生を送ったかと聞いても５秒で答えてくれる。AI には人格がないというが勝手に人格視している自分に驚く。より確定したテキストの多い分野の検索・要約は最も得意とする分野であろうか。実は、このページの記事の内容も、色々質問すると Gemini 君が同じように答えてくれるので考えさせられてしまう。

会社が情報を発信するに当たり、これからは、より主観的な「目線」のような情報が重要になるのでは？とも思う。AI 時代は「人」の役割が永遠のテーマになるのだろう。因みに Gemini 君は「感情的・倫理的観点からの判断」などと言う。全く思考が誘導されてしまいそうである。　（H.S）

一目でわかる建設業データ

数字でみる公共工事

◇ ブロック別保証取扱高（請負金額、2025年4月～2025年6月累計）



・北海道、東北、関東、北陸、中部、四国、九州でプラス、近畿、中国でマイナスとなっている。
・北海道の伸び率は8.8%となっている。

○請負金額６月累計額（３保証事業会社調べ）

（金額単位：百万円）

	請負金額	構成比	前年同期比較 増減額	前年同期比較 伸び率
北海道	706,840	11.3%	57,325	8.8%
東北	616,977	9.9%	56,982	10.2%
関東	1,718,023	27.4%	274,381	19.0%
北陸	439,260	7.0%	102,429	30.4%
中部	914,033	14.6%	109,699	13.6%
近畿	769,071	12.3%	-64,795	-7.8%
中国	316,455	5.1%	-42,673	-11.9%
四国	194,250	3.1%	22,182	12.9%
九州	586,508	9.4%	17,432	3.1%
全国	6,261,422	100.0%	532,962	9.3%

北海道の建設業景況調査（2025年度第1回・4月～6月）

◇調査の概要

＜調査目的＞

北海道の建設企業の経営動向調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

＜調査対象＞

当社と取引関係にある建設企業の中から、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。
2025年度第1回の回答企業数は233社（調査対象247社、有効回答率94.3%）です。

業種別	回答企業数	完工高別	回答企業数
土木	119	3億円未満	30
建築	23	10億円未満	63
土木・建築	60	30億円未満	94
設備	31	30億円以上	46
合計	233	合計	233

＜B.S.I.とは＞

この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設企業の意識調査を行ったものです。この意識調査の結果を数値化して表したものが、B.S.I.（ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ｻｰﾍﾞｲ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ＝景況判断指数）です。

＜B.S.I.の求め方＞

景況調査の集計結果から、以下の方法によりB.S.I.が求められます。
B.S.I.＝([良い・やや良い]と回答した企業割合－[悪い・やや悪い]と回答した企業割合)×1/2

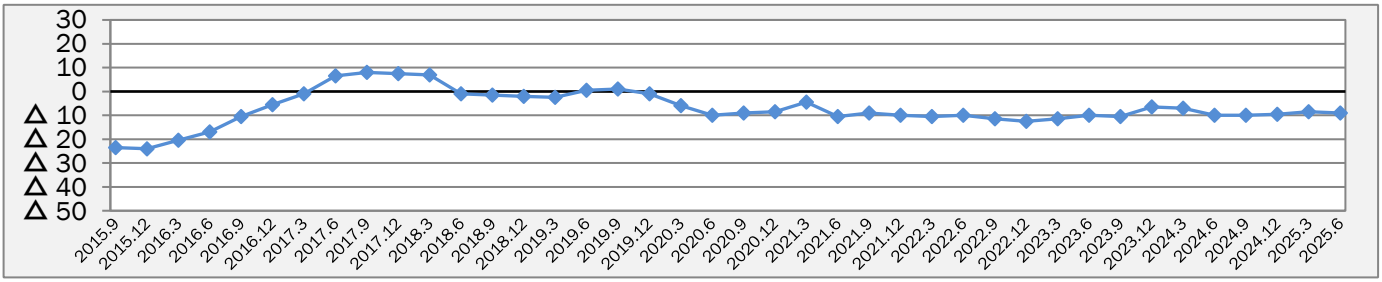
◇概観

[前期]-2025年1月～3月、[今期]-2025年4月～6月、[来期]-2025年7月～9月(見通し)

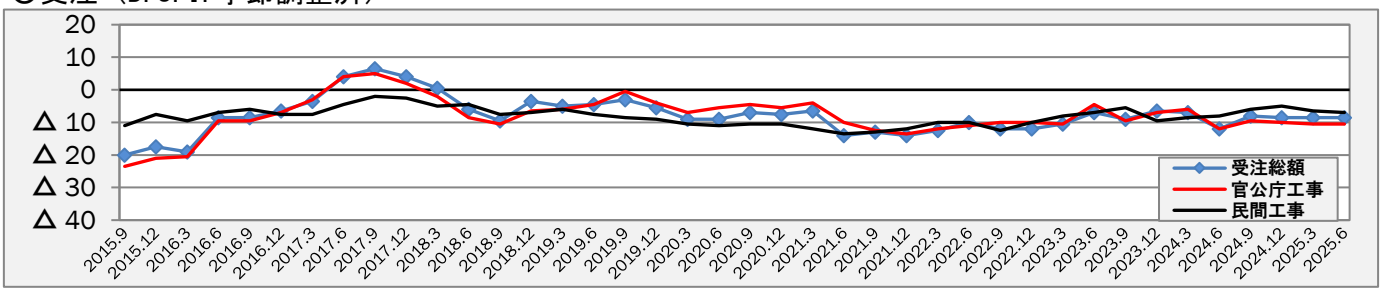
項目（※印は季節調整項目を示す。）		B.S.I.値の傾向 プラスの傾向 マイナスの傾向	前期 B.S.I.値	今期 傾向と推移（前期に比べた今期の状況）	今期 B.S.I.値	来期 傾向と推移（今期に比べた来期の状況）	来期 B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気※	良い 悪い	△ 8.5	悪い傾向が続いている	△ 9.0	悪い傾向がやや強まる見通し	△ 11.5
(2)受注	受注総額※	増加 減少	△ 8.5	減少傾向が続いている	△ 8.5	減少傾向がやや強まる見通し	△ 13.0
	官公庁工事※	増加 減少	△ 10.5	減少傾向が続いている	△ 10.5	減少傾向がやや強まる見通し	△ 13.5
	民間工事※	増加 減少	△ 6.5	減少傾向が続いている	△ 7.0	減少傾向が続く見通し	△ 9.0
(3)資金繰り※		容易 厳しい	3.0	容易傾向が続いている	3.5	容易傾向が続く見通し	1.5
(4)金融	銀行等貸出傾向	容易 厳しい	7.5	容易傾向が続いている	8.0	容易傾向が続く見通し	7.5
	短期借入金※	増加 減少	3.5	増加傾向と減少傾向が均衡を保っている	0.0	増加傾向になる見通し	2.0
	短期借入金利	上昇 下降	21.5	上昇傾向が続いている	20.5	上昇傾向が続く見通し	18.5
(5)資材	資材の調達※	容易 困難	△ 4.5	困難傾向が続いている	△ 5.5	困難傾向が続く見通し	△ 7.0
	資材価格	上昇 下降	30.5	上昇傾向が続いている	31.5	上昇傾向が続く見通し	30.0
(6)労務	建設労働者の確保※	容易 困難	△ 27.0	困難傾向が続いている	△ 25.0	困難傾向が続く見通し	△ 26.5
	建設労働者の賃金	上昇 下降	28.0	上昇傾向が強まっている	34.0	上昇傾向がやや弱まる見通し	30.0
(7)収益※		増加 減少	△ 12.5	減少傾向が続いている	△ 10.5	減少傾向がやや強まる見通し	△ 14.5

◇B.S.I.（ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ｻｰﾍﾞｲ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ＝景況判断指数）の推移

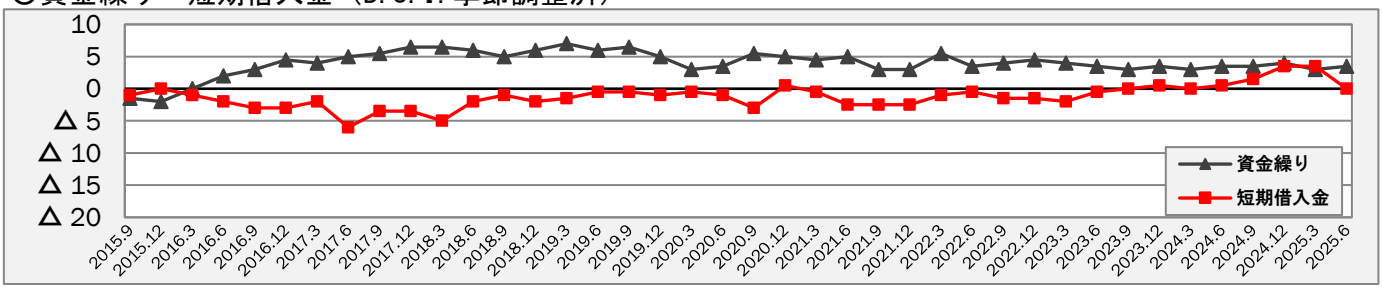
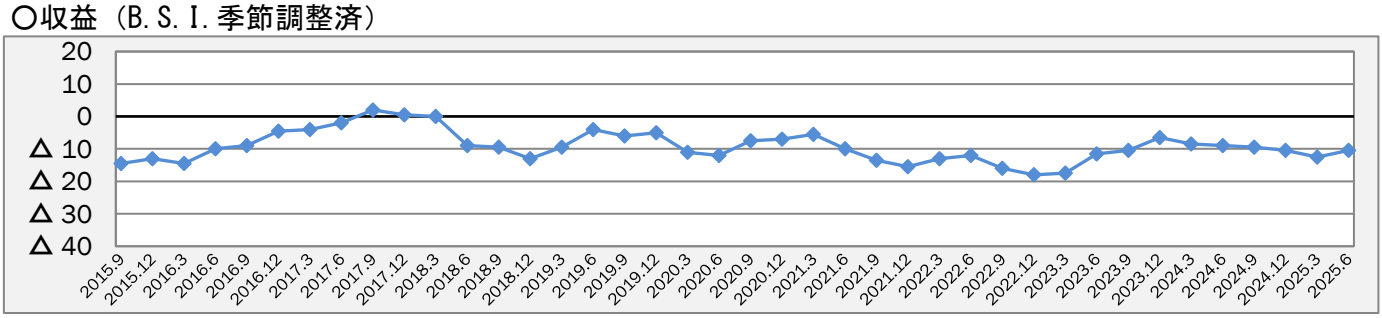
○地元建設業界の景気（B. S. I. 季節調整済）



○受注（B. S. I. 季節調整済）



○資金繰り・短期借入金（B. S. I. 季節調整済）



○収益（B. S. I. 季節調整済）